

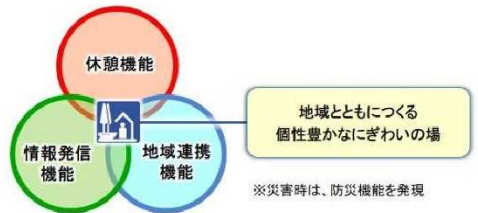
1. はじめに

■ 基本計画の目的

東根市は、豊かな自然環境と暮らしに便利な都市環境を併せもち、今後も周辺都市との連携を強化し、魅力ある都市として発展していくために「交流」や「情報発信」の拠点として「道の駅」を整備します。本計画は、平成30年3月に策定された基本構想を踏まえ、利用者にとって魅力的な「道の駅」を実現するため、導入する機能や配置等を検討し、事業を推進することを目的とするものです。

■ 「道の駅」の目的と機能

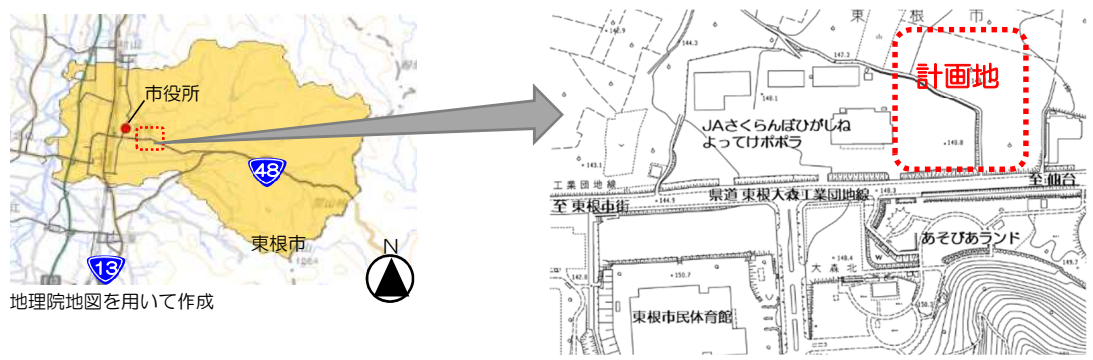
- 目的
道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
地域の振興に寄与
- 基本コンセプト
- 休憩機能 ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
 - 情報発信機能 ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
 - 地域連携機能 ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設



■ 計画地

計画地は基本構想を踏まえ、JA産直施設である「よってけポポラ」の隣接地としました。

資料：国土交通省 HP



2. 整備コンセプトと整備施設

■ 地域課題と「道の駅」に求められる機能

統計データ、上位関連計画、交通実態調査、アンケート調査等を用いて地域の現状分析を行い、地域課題と「道の駅」に求められる機能を整理しました。

- 東根市の現状分析を踏まえて
 - ・少子高齢化と将来の人口減少が課題であり持続可能な地域発展のため、交流人口の拡大が必要
 - ・計画地は交通量が多く、仙台圏のアクセスに優れ、多くの道路利用者の立ち寄りが期待
 - ・農業産出額向上のため、「果樹王国ひがしね」ブランドのPR力強化が必要
 - ・新型コロナウイルス感染症流行前の観光入込客数、宿泊者数への回復が必要
 - ・周辺の避難所等と連携した安全な防災拠点が必要
- 上位関連計画を踏まえて
 - ・「山形らしい」基本機能、「交通結節点」「防災機能」を有する「道の駅」
 - ・「交流・観光拠点」としての地理的優位性を活かし、情報発信・回遊促進を実現する「道の駅」
 - ・周辺の避難所等、臨時ヘリポートと連携した防災機能を有する「道の駅」
- 交通実態の把握を踏まえて
 - ・「よってけポポラ」と連携した「道の駅」整備により、県内のみならず宮城県、仙台市からの誘客が期待
- 「道の駅」整備のためのご意見を踏まえて
 - ・休憩スペース、軽食・喫茶・テイクアウト、イベント広場、体験・交流の場、バス乗降場の整備

■ 整備コンセプト

よってけ、知ってけ、遊んでけ！

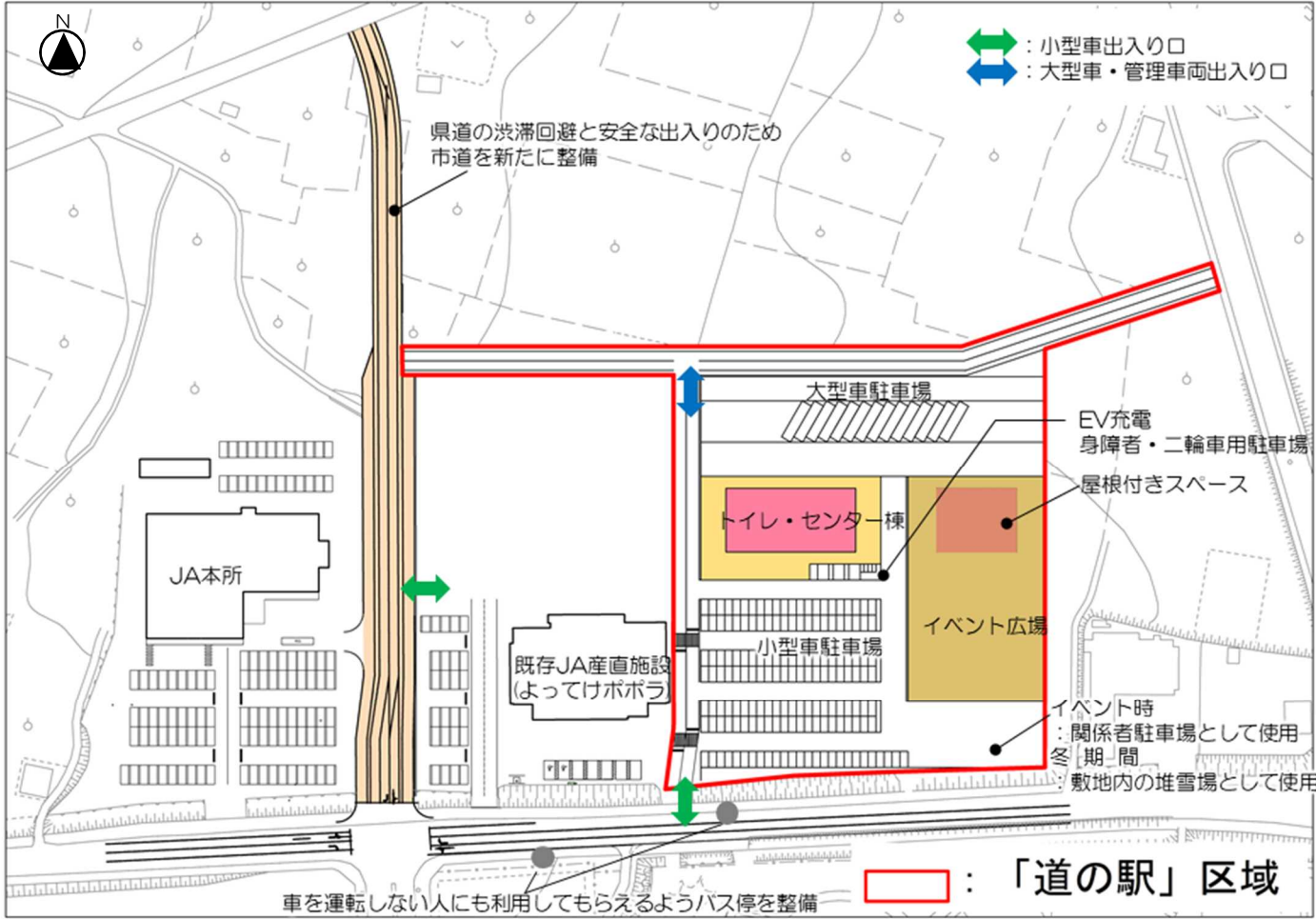
「果樹王国ひがしね」のゲートウェイ

～「道の駅」（仮称）さくらんぼ東根～

■ 整備施設

休憩機能	
駐車場	普通車、大型バス、大型貨物、車いす対応、二輪車、EV用急速充電設備、車中泊エリア
トイレ	男性用、女性用、オストメイト、多機能、子供用
休憩スペース	40人相当の休憩スペース
軽食・喫茶・テイクアウト	
情報発信機能	
観光案内所	案内人の配置を前提とした観光カウンター、山形県内、周辺地域、東根市内の観光・特産品情報の提供、行政情報（ふるさと納税、地理的表示保護制度）の提供
道路交通情報	モニター等による道路交通情報の提供
地域連携機能	
物産品販売	よってけポポラと連携した整備により地域の特産品を販売
体験・運動・交流	イベント広場を活用、大森山公園の既存施設の活用
イベント	イベント広場を整備
防災機能、機能の多様化	
ヘリポート	既存の大森山公園芝広場（臨時ヘリポート）を活用
防災備蓄	道路利用者、周辺住民のための備蓄倉庫
マンホールトイレ	駐車場や外構部等に設置
ゲートウェイ機能	バス停
その他	
交通安全機能	県道東根・大森工業団地線を渡る横断施設の整備や信号設置

配置計画（当初）



施設規模の検討（変更なし）

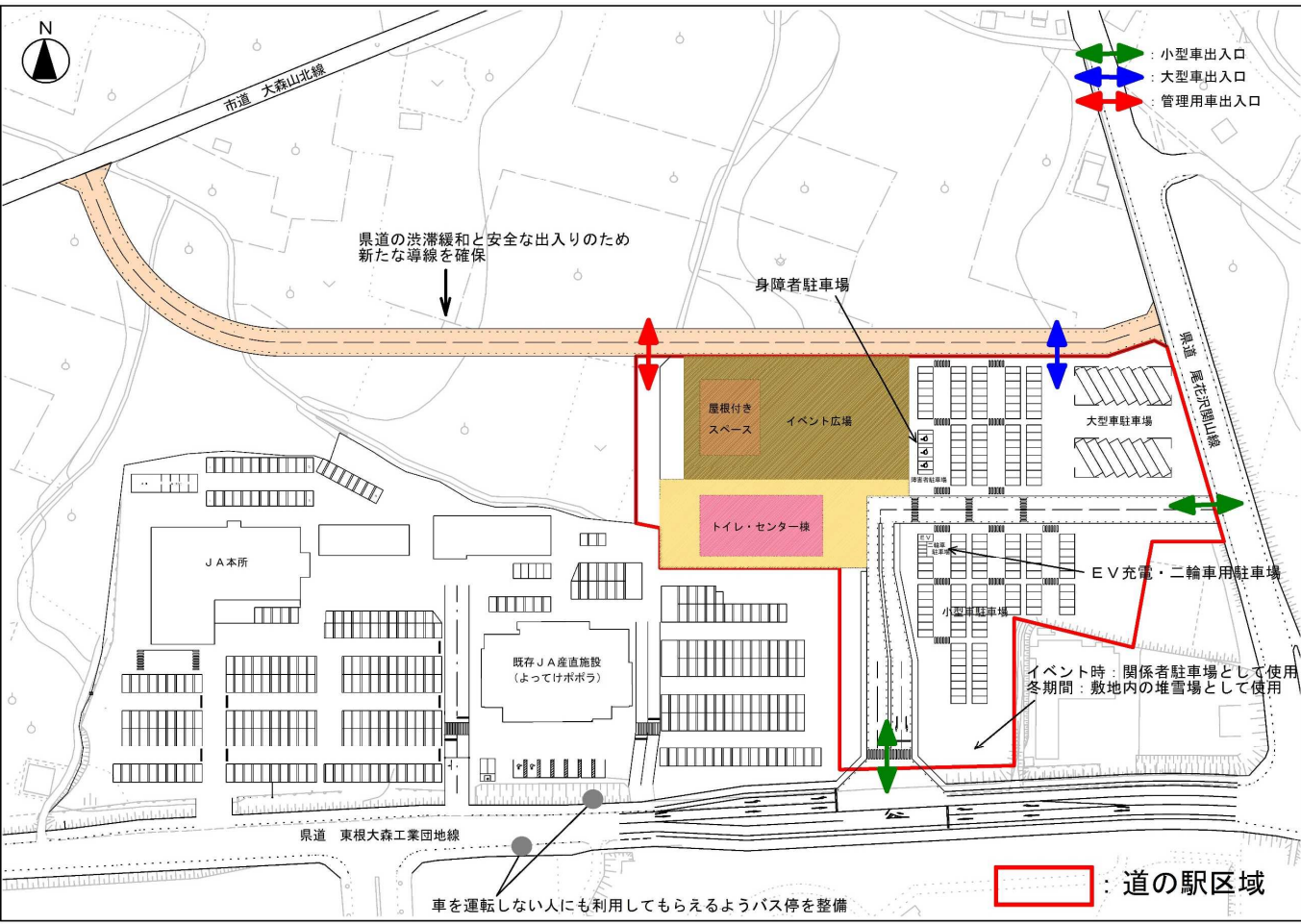
各施設の規模については、計画地の前面交通量及び「東日本高速道路株式会社設計要領」等を踏まえて算定しました。

施設		規模
駐車場		170 台
トイレ・センター棟	トイレ	265.2 ㎡
	軽食・喫茶施設	150.0 ㎡
	観光・道路交通情報	80.0 ㎡
	附帯施設（防災備蓄含む）	320.0 ㎡
トイレ・センター棟 合計		815.2 ㎡
イベント広場 （うち屋根付きスペース）※		3,040.0 ㎡ (500㎡)

【駐車場内訳】
小型：149 台
大型：14 台
身障：3 台
二輪車：4 台

※イベント広場の屋根付きスペースを休憩スペースとして利用可能。

配置計画（変更）



事業方式

「道の駅」を整備する事業方式は、従来方式（公設公営）のほか、民間事業者の活力を最大限に活かせる維持管理及び運営方法について検討を行いました。DBO 方式や PFI 方式等を比較検討した結果、民間のノウハウを活かした効率的な運営が期待できる「指定管理者制度」を軸として進めていくこととします。

概算事業費

基本計画での概算事業費は、16.6 億円を見込んでいます。なお、今後詳細な測量、地質調査等を踏まえ、事業費が変更となる場合があります。

事業スケジュール

種別	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
測量・用地		現況測量	用地測量	用地買収			
設計		基本設計		実施設計			
「道の駅」工事			用地測量		建築		
道路工事							
供用準備・供用							

※事業スケジュールは交付金の活用状況等により変更となる場合があります。